



学びセンター通信の第6号をお届けします。
今号も学びセンターの最新ニュースやプロジェクト報告をお伝えします。

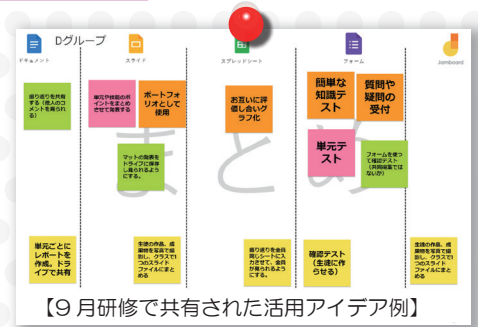
今月の「クリルちゃん」
クリスマスちゃん

…今年もあと少し。
Happy Merry Christmas to you♪

「GIGA スクール受託事業」 喬木村教育委員会での研修の様子②

本年度、喬木村からの受託事業として、村内 2 小学校 1 中学校の教員研修を実施しています。喬木中学校研修を村松・小倉が担当し、9月30日に1回目。12月16日に2回目の研修で訪問させていただきました。事前相談も、喬木村のICT支援員として活躍されている長坂様との連携で、オンラインで円滑に進められました。

12月の研修では、9月に各先生方が議論してまとめたクラウドツールの活用法をもとにした授業公開と、3学期の実践計画を検討しました。授業公開も私どもだけでなく、小学校の先生方も参観されるなど、小中連携が進められていました。授業でも1人1台端末初トライの先生が、教師用デジタル教科書とJamboardを組み合わせた展開に取り組むなど、実践としても着実に進んでいました。実践計画の検討では、グループごとにアイデア交換をしながら、活発な議論がなされました。3学期の実践化が楽しみです。
(村松浩幸)



飯田市研修会報告②

11月12日(金)に今年度第2回目の飯田市中核教員研修がオンライン(Zoom)で行われました。飯田市内の全小中学校からICT活用教育推進を務める先生方が集まり、7月の第1回研修以降にどのようなICT活用の取り組みを行ってきたのか、ブレイクアウト機能を用いてグループごとに発表し合いました。キーボードの入力練習やクラウドを活用した授業実践など、子ども達の様子や実際に活用した教材を紹介しながら、GIGAスクール時代のICT活用教育の実践を語り合いました。結びは学びセンターの佐藤と森下が学術的な観点からそれぞれコメントし、2月の研修に向けた課題を示しました。
(森下孟)



卒業生の活躍 ★★

全国各地でGIGAスクールを推進する信大卒業生

「タブレットの日」ということで、11月12日に渋谷区立上原小学校を訪問しました。信大の特任教授であることを告げると、教員の中に信大卒業生がいることを校長先生から告げられました。校庭で空気銃の授業をしていたそのU先生は、私のことを覚えていたようで、いきなり、「教育実習でICTを使わなければいけなかったことが役立っています」と語ってくれました。他の先生は、そのような経験をしていないので、自分が頑張らないといけないと思い、周りの先生への支援をしているとのことでした。

信州大学教育学部は、小中学校の教育の情報化に対応できる教員、情報化を推進できる教育の育成を目指して、全国に先駆けて1996年度入学生から「コンピュータ利用教育」という授業科目(2単位)を、全学部生に必修科目として課してきました。また、2014年度の教育実習からは、ICTを活用した授業を実施することを必須化するなど、他の教員養成大学には見られない取り組みをしてきました。

詳細はこちら (<https://soar-ir.repo.nii.ac.jp/record/21085/files/cril18-09.pdf>)。



これまでは、信大の特徴的なカリキュラムの効果を実感できる機会がなかったのですが、GIGAスクール時代になって、学生やその指導にあられた先生方の努力が報われる時がきたのだと、嬉しい気持ちになりました。

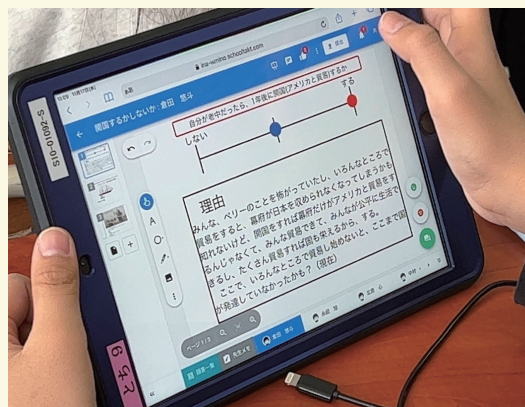
(東原義訓)



伊那市カンファレンス

11月17日に ICTConference in INA NISHIMINOWA が伊那市立西箕輪小学校と伊那市立西箕輪中学校で開催されました。西箕輪小は6年生社会科「明治の国作りを進めた人々」、西箕輪中は3年生数学「図形と相似」の授業がオンラインでも公開され、午後に本センターの森下が中学、佐藤が小学校の指導助言司会を担当しました。また、本センターで定期的に行われている「教育 DX お悩み相談室」の出張版がオンラインで開催され、本センター長の村松が担当しました。研究会の最後には、本センター客員教授で東北大学大学院情報科学研究科の堀田龍也先生の特別講演が実施されました。

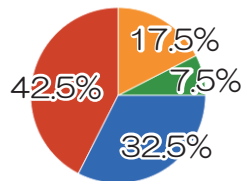
(佐藤和紀)



附属の GIGA 活用状況 ②

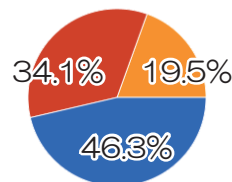
附属学校園での1人1台端末の活用状況の調査を行いました(10月号続き)。子どもたちのキーボード入力については32.5%で「多くの子が問題なくスムーズに入力できる」という結果でした。興味深いのは、小学校2年生や3年生の学級でも回答が見られたことです。端末の活用による子どもたちの変化については、80%以上で何かしらの変化があったという結果でした。具体的な変化として「効率という視点が変わったように思います」や、「スライドにまとめる際に(見る人のことを考える)相手意識が芽生えてきた」、「学習意欲の向上。特に手書き文字に苦手意識ある子ども」、「Jamboardの利便性に気づき、アイデアの交流をツールを使って行おうとする意識が見られた」といった記述が見られました。一方で、「端末の操作に戸惑ってしまい、それまでの授業なら問題のなかった生徒がつまづいてしまう」といった記述も見られました。つまづきを乗り越え、深い学びへと繋がればと思います。結果の続きは1月号でご紹介させていただきます。

(小倉 光明)



子どもたちがキーボード入力を使っているならば、その状況で当てはまるものを選択してください。(40件の回答)

- 多くの子が両手で問題なくタイプでき、入力がスムーズにできる
- 両手で問題なくタイプできる子が半分はいる
- 両手で問題なくタイプできる子が少しいる
- 両手で問題なくタイプできる子はほとんどいない



端末を活用してから子どもたちの姿に変化が見られましたか。(41件の回答)

- かなり変化があった
- 少し変化があった
- 特に変化は無い

編集後記

本年から始まりました学びセンター通信。来年も引き続き、皆様に情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。どうぞよいお年をお迎えください。



信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター

TEL : 026-238-4242 メールアドレス : crilofc@shinshu-u.ac.jp
Web サイト : <https://cril-shinshu-u.info/>



GIGA スクール県内サポートサイト

長野県内のさまざまな GIGA スクール情報をお届けしています。
Web サイト : <https://cril-shinshu-u.info/giga/>

